



私たちが目指すもの

私たちは社会資本整備や災害対策等に対して、測量を通じて活躍のできるプロフェッショナルな人材の育成とともに、時代に適した新しい技術を習得し、社会やお客様のニーズに応えられる質の高い会社となることを目標としています。

PICK UP 主な受注動向(令和5年度)

- R5.3.13 R4 烏川上流外基準点測量業務(高崎河川国道事務所)
- R5.3.13 R4 神流川基準点測量業務(高崎河川国道事務所)
- R5.3.16 R5 寄居地点外流量観測業務(荒川上流河川事務所)
- R5.3.16 R5 小ヶ谷地点流量観測業務(荒川上流河川事務所)
- R5.4.6 R5 品木ダム堆砂測量業務(品木ダム水質管理所)
- R5.4.25 R5 首都圏氾濫区域動態観測等業務(利根川上流河川事務所)
- R5.7.26 詳細設計業務(その3)(高崎市)
- R5.9.4 R5 利根川上流部基準点測量業務(利根川上流河川事務所) **NEW**

NEXT ISSUE

次号の特集は
「3D計測その1」
について

会社情報

会社名 株式会社リョーチ
 代表者 代表取締役会長 植松 元
 代表取締役社長 松本 陵
 改 編 令和3年7月1日(合併日)
 資 本 金 2,000万円
 事業内容 [測量] 基準点測量・水準測量・地形測量・3D計測・立木調査・その他応用測量等
 [申請業務] 河川道路申請・開発申請・保安林解除申請を含む国有林野申請等
 [用地調査] 権利調査・地下埋設物調査・境界確定等
 [設計] 土木設計・宅地造成計画等

社名 リョーチの由来

中国には古来より「測天量地」という言葉があります。「測天」は天文観測に、「量地」は土地測量にあたります。量地にも緯度経度を測るために測天の技術を用いたようです。社名は、主業務としている土地測量を意味する量地(リョーチ)より引用いたしました。



高崎本社 群馬県高崎市小八木町2039-1
 TEL 027-361-1441 FAX 027-364-6062
 前橋支社 群馬県前橋市下石倉町24-5
 TEL 027-254-1682 FAX 027-253-6446
 足利営業所 栃木県足利市鹿島町1092-15
 TEL 0284-22-7122 FAX 0284-22-7124



RYOOCHI NEWSLETTER



2023
09
vol.05

8月の活動実績

01 FARO3Dレーザスキャナ導入講習会(8/22~24)

最新の3Dレーザスキャナを導入しFAROから導入指導を受けました。防水機能があり小型軽量なため屋外での計測の強い味方になりそうです。



1日目 屋外での観測 2日目 室内でデータ解析 3日目 室内での観測

02 高校生が会社見学に来社

前橋商業高校商業科の3年生が1名、会社見学にやってきました。当社の最新技術の仕組みや3次元計測の説明を受け、社内を見学しました。ドローンを使用した3次元計測に興味があるようでした。



R5.8.7 RYOACHI本社にて

03 トピコンビジネス交流会

測量機器メーカーの営業・技術者と、定期的に新技術の勉強会を行っています。交流会は2年前からスタートし今回で5回目です。



R5.8.29 当社会議室にて

04 下仁田町へ寄付

当社は「ねぎとこんにやく下仁田奨学金事業」に賛同し、企業版ふるさと納税制度を活用して、代表取締役社長の松本が、原秀男町長に目録を手渡しました。



R5.7.28 下仁田町にて

未来のインフラをそうぞうする会社

株式会社リョーチは、高崎市に拠点を置く測量会社です。令和3年7月に公共測量を得意とする会社と民間測量・申請等を得意とする会社が合併しました。各々の長所を活かし、多くのお客様の役に立ち、必要とされる会社になることを目標に、日々努力しています。そんな私たちの日々の取組みを皆様にご覧いただき、信頼できる会社かどうか...のぞき見ていただけるようRYOOCHI NEWSLETTERを作成しました。ほぼ毎月の発刊を目指しています!

PICK UP 私たちの取り組みのポイントをご紹介します!

測量業務

その2

RYOOCHIの 用地測量

ひとことメモ

境界立会は、通常現場にて関係者の立会のもと実施しています。相続人の調査が難航したり、高齢者の立会要請等、難しい問題に対応しながら行っています。

国有林の境界検測

当社は関東森林管理局で42年の実績がある勤務経験豊富な職員が在籍し、年5haの国有林の境界確定の実績があります。

POINT 01 コンパス測量 / トランシット測量

- 国有林の境界検測は、計測当時と同様の方法で確認する必要があり、**コンパス検測**と**トランシット検測**の2種類があります。
- コンパス測量が行われていた現場ではコンパス検測を、トータルステーションが使用された現場ではトランシット検測を実施しています。
- 誤差については、発注者様と補正の協議を行っています。



コンパス測量 コンパスとエスロンテープ(間縄)を使用し、距離と方位角により、境界の位置の確認をします。

POINT 02 大コン設置

- 国有林は、大コン(12×12センチメートルのコンクリート杭)を山の上に40本ほど設置したこともあります。
- モノレールで杭をはこんだり、ヘリコプターを使って山頂に杭を降ろしたこともあります。



POINT 03 立木調査

- 国有林の立木調査では、樹種・胸高直径・樹高を計測するため、樹木に詳しくなりました。
- 樹木の本を持ち歩き、樹種が分からない場合は、葉を持ち帰って調べています。
- 立木調査の3次元計測を検討しています。



用地測量のこれから

今後は現場に行かず、現場の状況を把握できる遠隔臨場の立会の実施を考えています。

昨年、点検測量で遠隔臨場を実施しました。真夏だったため、スマホが高温になり電源が入らず、クーラーボックスで冷やしながらの作業でした。また、太陽光のまぶしさを避け、画面を見やすくするため日傘をさしながら行いました。

昨年の遠隔臨場の様子



RYOOCHIの 流量観測

ひとことメモ

台風が接近している時などは、夜でも出動要請があるため、気が抜けません。

ADCPを使用した流量観測

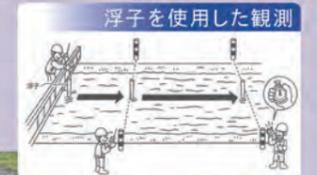
浮子を使用した観測と併用してADCPを流量観測に使用しています。

WHAT IS ADCP?

ADCPは、水中に音波を発信し水中の散乱体(プランクトンや塵などの浮遊懸濁物)に反射して戻ってくる音の周波数変化を計測することで流速を算出する流速計です。

GOOD POINT!

ADCPの使用で、観測時間が短くなり、流量観測の精度があがり、浮子などのゴミもださず作業員が安全に流量を観測することができるようになりました。



**こんな工夫も
しています!**

高水流量観測時、回転灯を測線の両端に設置して測線を分かりやすくして計測しています。

POINT 01 訓練

- 高水流量観測の出動要請にそなえ、高水出動訓練を事前に実施しています。
- 全員で業務内容を再確認し、高水流量観測に不慣れな社員の研修も兼ねています
- 河川周辺での作業が多いので、定期的にボートの転覆訓練を行っています。



流量観測のこれから

ADCPを積極的に使用し、流量再現精度・作業効率・安全性の向上を図る。